

Rotary 関ロータリークラブ

2020～2021年度国際ロータリーテーマ

ロータリーは機会の扉を開く Rotary Opens Opportunities

RI会長：ホルガー・クナーク

関ロータリークラブ会長テーマ

志～奉仕の理想を高さ志で実践しよう

55代会長：木村 聡

「関の刃物」は700余年の歴史を誇り、「折れず、曲がらず、良く切れる」関鍛冶の伝統を受け継いでいます。

会長 木村 聡
副会長 加藤 照彦
幹事 酒向 徳享

D2630 ROTARY CLUB OF SEKI WEEKLY REPORT



本日のプログラム 第 2587 例会 2020 年 12 月 1 日 (火)

「行動力～その一步が希望に満ちた未来を創る～」

関青年会議所 理事長 山中孝浩様



前例会の記録・第 2586 回 11 月 17 日(火)12:30

「新型コロナウイルス感染症に係る
中小企業支援について」
古田会計事務所 税理士 古田貴巳会員

◆開会点鐘

◆会長挨拶 木村聡



本日は古田貴巳君による会員卓話です。「新型コロナウイルス感染症に係る中小企業支援について」というテーマでお話をして頂きます。第三波を迎えた新型コロナウイルスの感染拡大により、毀損を余

儀なくされている企業が増えていると思われまふ。先週に引き続き、大変有益な情報をお聞きすることで、各位の企業の資産増強に役立てて頂き、この困難をしっかりと乗り切っていきましょう。

一年ほど前、TVのバラエティー番組で「何を喋れるかが知性で、何を喋らないかが品性」という言葉が紹介されました。この言葉は、何となく私の心に響くものがありました。人間が社会性のある生き物である以上、基本的に話す行為というのは必要不可欠です。話すことが好きな人、嫌いな人、或いは得意な人、苦手な人、様々あるとは思いますが、いずれにしても、どんな内容の話をどのように話せるかは大変重要なスキルです。上手く話すこと或いは人の話をよく聞くことと言うのは、幼少期よりその大切さをずっと言われ続けてきていることもあり、誰もがその人なりに心がけているのではないのでしょうか。だからこそ人は自らの貴重な体験や人生で出会った有り難い言葉など、自分にとって有意義なものであるだけでなく、人にもお裾分けできるようにアンテナを張って蓄積しているのだと思います。堅

い話ばかりでは無く、趣味や娯楽などの柔らかい話もできた方が良いでしょう。幅広く且つ深くも浅くも話すことができる豊富な知識量と話術はまさに「知性」だと言えます。

しかし今回私の心を揺さぶったのは、後半の「何を喋らないかが品性」という件です。余分なことを言ってトラブルになったなんて経験は誰もがをお持ちだとは思いますが、これを「品性」という言葉に結びつけて考えたことはありませんでした。でも言われてみればまさにその通りで、自分の持っている知識をひけらかすように話すのでは無く、場面や相手のことを考慮して、内容や言葉を選ぶなんて行為はまさに「品性」だと思ひます。「知性」の上に更に「品性」を兼ね備えてこそ一人前だなど。特に話し好きの人であれば、話したい衝動を抑えるのには、かなり強い意識が働かせなければコントロールできないでしょう。しかし人としての高みを目指すのであれば、「品性」を兼ね備える努力を怠ってはいけません。

余談にはなりますが、ちょうど十年前、亀井さんが会長をされた時(2010-2011年)のクラブテーマが「ロータリーの基本と品格を考えよう」であったことを思い起こしました。因みに「品性」とは人格や性格の品であり、「品格」とは物事から感じられる雰囲気や品ださうです。そもそも「品」という言葉もやや難しく、「上品」「下品」というような場合は「礼儀」や「礼節」というような意味合いとなり、「気品」「品位」となると「高貴さ」や「気高さ」というような意味合いを帯びてくるようです。

◆委員会報告

◎出席委員会 委員 秋柄達也

会員 50 名中 出席 27 名 出席率 54.00%

◎ニコボックス委員会 委員 奥村敏教

会長・副会長・幹事・・・今日は、尾崎さんから IGM の報告とロータリー財団委員会 古田委員長の会員卓話です。第3波といわれる不安なコロナ禍、企業支援についてのお話は、会員の皆様も興味があると思います。コロナに負けない支援のお話よろしくお願ひします。

林隆一、杉浦孝志、東谷好司、酒井泉、長尾一郎、藤井淳、土屋佳久、加藤浩二、林昇、後藤信介、西田泰幸、福田春彦、奥村敏教、栗倉晋吾、秋柝達也会員の皆さん・・・コロナウィルスで影響を受ける企業が多い中、税理士からみた支援で、自事業を上手く乗り越えていく術などあれば教えてください。今日の卓話期待しています。

後藤信介、長尾一郎、加藤浩二、塚田浩孝、尾崎嘉彦会員の皆様・・・昨夜、栗倉さんホストにて、吉寿司さんにおいて久々の IGM が行われました。楽しい時間と美味しい食事にお酒を、栗倉さんありがとうございました。

酒井泉会員・・・11日のゴルフコンペで、ダブルペリアのハンディが見事にハマりまして、凶らずも優勝させていただきました。因果応報といいますが、日頃の善い行いで、ゴルフの神様が恵んでくださったのかと思います。三桁会の会長は次回、返上したいと思っております。

山田一成会員・・・妻にバースデーカードをいただきました。ありがとうございました。

◆ IGM の報告 報告者：尾崎嘉彦会員

日時：11月16日（火）18：30 場所：吉寿司

ホスト：栗倉晋吾 R情報：後藤信介

リーダー：長尾一郎

出席者：加藤浩二、尾崎嘉彦、塚田浩孝

久しぶりのロータリーの仲間での食事会でまずは、それぞれのコロナ禍での近況の話で始まり、オリンピックの開催について、入国する選手や観客の管理についての話。その後、ロータリー情報の後藤さんから今日のテーマとして「コロナ禍でのロータリー活動をどうするか」が提案されました。今後しばらくは終息などと期待はできない状況になってきていることから、現状の例会の在り方（弁当のこと・例会場所のこと）について意見交換がありました。弁当が必要か？ということから、「ロータリー会員の飲食店で利用可能なロータリーチケットのようなものを考えられないか」と斬新な考えも出ました。「例会場はこのままでよいのか」現在は加藤照彦さんのご厚意で新東建設さん この場所にて開催させていただいているが、応急対応がそのままになってしまっているのだろうか？費用が発生しても、しかるべき場所を確保していくことが団体としての本来の姿ではないだろうか。と意見がまとまりました。現三役さん、次期三役さんにお任せするような

形になってしまいますが、昨夜の IGM での話となります。ホスト 栗倉さんはじめ この六人での食事会ですので、ご想像にたやすいと思いますが、話も弾み、お酒も進み 安心できる場で一時コロナも忘れ、楽しい時間を過ごさせていただきました。エンジンが温まってきた感があり、虫の疹きもありましたが、さすがに、次のお店にとはならず、皆さん帰宅されました。栗倉さん良い場所でのおいしい食事にお酒、楽しい時間を有難うございました。なによりメンバーでのコミュニケーションの大切さを感じたひと時でした。

◆ 「新型コロナウイルス感染症に係る

中小企業支援について」

古田会計事務所 税理士 古田貴巳会員



新型コロナウイルス感染症により影響を受けた中小企業に対して、各機関より様々な支援策が出ております。今回は主だった支援策をご紹介します。

①経営の立て直しを目的とした、持続化給付金及

び家賃支援給付金については、売上高の減少に伴い、給付金の支給を受けられる。

②雇用の継続を目的とした、雇用調整助成金は、休業手当等の一部の助成があり、また新型コロナウイルス感染症対応休業支援金給付金は休業手当等を受けられない労働者に給付金が支給される。

③資金繰りとしては、金融機関による無利子無担保の融資が受けられる。

④その他、納税の猶予や、固定資産税の軽減措置がある。

以上のような支援策がありますが、この他にも業界や地域別等、様々な施策が出ております。

このような支援策を活用し、コロナ禍の厳しい経営状況を乗り切っていただければと思います。

◆ 幹事報告

◎12月の例会予定表配布

◎2022年度東海北陸道グループガバナー補佐 理事会において亀井高利会員を選任

◎米山奨学生カウンセラー 理事会において東谷好司会員を選任

次例会のご案内 12月6日（日）9：00

「第1回関ロータリークラブ旗争奪関市中学生野球大会閉会式」並びに「特別記念講演」

於：せきしんふれ愛アリーナ ※12/8の変更